

## ホストファミリー体験

### 忘れられないお姉さん、お兄さん

僕は今、中学1年生になりました。春から英語の授業も始まりました。小学校1年生と3年生の時に家に留学生がきました。1年生の時は、大きなお姉さんが来たような感じで、歳が10歳も離れていました。3年生の時はお兄さんでした。一緒に生活してみて一番感じたのは、食文化というのは、本当にいろいろあるのだな、ということです。一番楽しい思い出は、一緒にスキーに行ったことです。とても楽しかったです。半年や一年があっという間に終わってしまいました。今になって思うことは、小学生の時から少しずつ英語を聞いていたので、学校の授業でリスニングがとても楽しく感じるといえると思います。この思い出と貴重な体験を忘れずにこれからの生活にも活かしていきたいです。(H.T.)



### 一枚のポスターから



転勤先名古屋の近所のスーパーでAFSのポスターをみかけました。ホストファミリー募集！当時小学校六年生だった長男は長期の怪我でサッカーができなくなり、鬱々としていました。やってみる??子供達に聞いてみると、やってみたーい！そしてあれよあれよという間にインドからラビンという少年が我が家にやって来ました。彼との出会いが我が家にさらなる出会い、チャンスをもたらしてくれました。

長男はラビンと出会ったことで、自分も留学したいと思うようになり、横浜に家族で戻ったあと実現させました。62期生としてドイツへ行きました。その間にノルウェーからのパウエルを預かりました。

一枚のポスターから我が家は世界に繋がりました。(M.M.)

### 留学生とのお付き合い

ホストファミリーを引き受け始めたきっかけは、長女の中学生時代にさかのぼり、娘からの「1週間位、外国の学校の生徒を家に泊められないか」の一言。以来数年おきに4名の留学生、バレン(チリ)、リブ(ノルウェー)、アレ(イタリア)、ルックタン(タイ)を受け入れ無事に送り出すことができたのは、AFSの皆様のおかげであるとともにサポート体制が整っているからです。皆1回は里帰りし、日本が(日本のカルチャーが)大好きです。メール連絡もたびたびで、みんなの近況を伝えるとともに、誕生日、クリスマス、お正月のカードも欠かせません。

そんなこんなで、2018年末はバレン(2006年間留学生)の結婚式でチリに招待です。(T.W. & T.Y.)



結婚式翌日朝 奥がバレン、日本からの派遣生Rさん(現在チリ在住)も!

## 沢山の学びがある素晴らしい体験

コスタリカ派遣が決まっていた長男が「うちにも留学生を受け入れて欲しい」と希望し、スウェーデンからの留学生ユリが我が家にやってきました。ユリは日常会話レベルの日本語、さらに native 並みの英語が話せましたし、彼女の明るくフレンドリーな性格は、すぐに私達家族や仲間との距離を縮めました。ユリとの生活は、私や息子達にとって楽しく、また、沢山の学びのあるものでした。ユリの「何にでもチャレンジする、すすめられたら何でも一度は食べてみる」という心がけはとても好感が持てましたし、母親としては「大人に対して自分の意見をはっきりと言う。自分の事は自分で決める。」という部分に感心しました。タイミングや状況が許せば、留学生と生活することは素晴らしい体験だと思います。(H.R.)



## 派遣生 帰国報告



### 留学で得たこととは

わたしのベルギー留学はカルチャーショックの連続でした。

まずベルギーで高校生に求められることは自立でした。皆実現したい夢があり、それに向けて勉強します。また生活面では掃除、洗濯、お弁当の準備を自分でするのは当たり前でした。日本の両親がしてくれる“当たり前”への感謝に気づかされました。

異文化での生活で何度も壁にぶつかりましたが、同じ境遇の留学生やクラスメイトと相談しあい乗り越えてきました。人との関わり大切さ、助けることの大切さを改めて感じました。

たった10カ月の経験がわたしを大きく自立させ、一生大切にできる友人を与えてくれました。ベルギー留学はわたしの人生の宝です。留学で学んだことを生かして将来は人々を助けることができる女性になりたいです。(K.Y.)

## いこうぜ 海外



留学で分かったことは、物事に対して真剣に向き合うことの大切さです。

正直なところ、留学に行く前、国を超えた仲たがいや他国への偏見は、文化も違えば価値観も国民性も違うのだからしょうがない、と考えていました。

ところが、実際に行ってじっくり話をしてみると、分かり合えないだろうと思っていたことが実は同じことを考えていた、ということがよくありました。ホストファミリーとうまくいかなかったり、人との距離感に戸惑ったりしたこともありましたが、そういうときこそお

らかに問題を受け入れて、楽しむことができるか、が鍵だと思います。

今回の留学体験をいかして、高校卒業後はコスタリカに戻って環境問題について勉強するつもりです。留学中の成長だけでなく、そのあとのビジョンも与えてくれるのが高校生のときに留学をするメリットの一つです。

(G.B.)

